

# 下大和田谷津田だより

2003年10月号

## 第28回谷津田フレイランド・プロジェクト(YPP) みんなでサクサク！稲刈り

9月20日 曇り

台風の影響で天気が心配されましたが、何とか昼過ぎまでもってくれて、天気に恵まれる YPP の記録を更新。谷津田 レンジャー養成講座の受講者や子どもサポートセンターのメンバーなどを含め、40人を超える人が駆けつけてくれました。今年は男手が少なかったのですが、お母さんたちや小さな子どもたちが一生懸命刈ってくれたおかげで昼前には全部終わりました。はじめて覚えた鎌の使い方、稲藁を使っての縛り方など、最後はみんな一人前です。去年に比べて稲を掛けたオダの長さが3割くらい短く、稲束も軽く感じられ、異常気象の影響を実感した稲刈りでした。最後にきれいな赤い穂が出揃った赤米をお土産に刈って、雨の降り出しと共に散会となりました。

(参加者：大人26人・小学生12人・乳幼児6人、報告：高山邦明)

## 脱穀

9月28日 晴れ

稲刈り以降雨が続き、秋の乾燥具合が心配されましたが、最後に晴れが続いてくれたお陰で予定通り脱穀ができました。今年も地元の方から脱穀機をお借りしました。コンバインが当たり前の現代では骨董品のような機械ですが、大切に使うとこられた脱穀機は調子よく動き、あっという間に脱穀が終わりました。袋に一杯貯まった籾を手ですく上げると収穫の喜びがわいてきます。今年は30kgの袋で4つと去年の7/8割でした。

(参加者：大人14人・小学高校生3人・乳幼児1人、報告：高山邦明)

## 第44回「下大和田谷津田の 観察会とゴミ拾い」報告

9月7日 晴れ

田んぼは稲刈りが始まり、秋の気配が漂っていました。

開花植物：オオアレチノギク、カントウヨメナ、シラヤマギク、タイアザミ（トネアザミ）、タカサブロウ、ダンドボロギク、ノゲシ、ヒメジョオン、ヨモギ、ミソカクシ（アゼムシロ）、フタバムグラ、ヘクソカズラ、キツネノマゴ、アゼナ、キクモ、シロネ、トウバナ、ハッカ、ヤマハッカ、セリ、ノダケ、アレチマツヨイグサ、チョウジタデ、コケオトギリ、タカトウダイ、ヤブガラシ、シロツメクサ、ツルマメ、ヌスビトハギ、ノアズキ（ヒメクス）、ゲンノショウコ、オウチカタバミ、タコノアシ、イヌガラシ、タネツケバナ、クサノオウ、アキカラマツ、ウシハコベ、ヒナタイノコスチ、イヌタデ、ナガバギシギシ、ヤノネグサ、カナムグラ、シマズメノヒエ、ジュズダマ、スズメノヒエ、チカラシバ、チヂミザサ、オドコロ（トコロ）、ヤマノイモ、コナギ、ツユクサ、オモダカ、ヘラオモダカ、野鳥：エナガ、キジバト、ハシブトガラス、モズ、昆虫：クモ：アオスジアゲハ、オオチャバネセセリ、スジグロシロチョウ、ヒカゲチョウ、ヤマトシジミ、アブラゼミ、スケバハゴロモ、ツクツクボウシ、オオカマキリ、チョウセンカマキリ、ヒシバツタ、トゲヒシバツタ、コバネイナゴ、オンブバッタ、ヒメギス、サトクダマキモドキ、エンマコオロギ、オニヤンマ、シオカラトンボ、ノシメトンボ、ハグロトンボ、カブトムシ、クロウリハムシ、ベッコウシリアゲ、マメコガネ、ドヨウオニグモ、ナガコガネグモ、ヘリグロサツマノミダマシ、魚：カエル、貝：ドジョウ、タモロコ、フナ、メダカ、スジエビ、ヨコエビ、アメリカザリガニ、ニホンアカガエル、シュレーゲルアマガエル、ヒダリマキマイマイ、マルタニシ、ミスジマイマイ

(参加者：大人4人 報告：網代春男)

## 下大和田季節のたより

9月7日 紫米に続いて黒米も穂が出そろ。緑米、赤米はようやく穂が出始める。

9月14日 色づいたノミソバやナツアネが舞う。田んぼや水路にメダカの稚魚がたくさん泳いでいた。8割くらい穂が出た赤米が見頃。

9月28日 アキアネやマユアネも田んぼに帰ってきた。一方で強い日差しにアブラゼミやシジミの声も聞こえ、緑米はまだ花をつけている。栗の実が採り頃。

(報告：高山邦明)

周りの林や涼しい高地で夏を過ごしたトンボたちが赤く変身し、稲刈りが終わった田んぼに帰ってきました。いよいよ秋本番です。みなさんの近くの田んぼではどんな秋が来ていますか？花の数も多いこの季節、田んぼに出かけて見て下さい。

高山邦明